

ご挨拶

令和八年一月

曹洞宗 奕葉山 昌傳庵

住 職 今成 幸裕
副住職 今成 健二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

だいぶ前の話ですが、テレビで「下町ロケット」というドラマをしていました。下町の小さな工場が作る精度の高いロケット部品。主人公の社長は、利益を追求する大企業やライバルからの妨害を受けながらロケット打ち上げの夢を追い続けるといった内容でした。何か凄い事をするとは妬んで邪魔をしたり妨害したりするのは現実も変わらないだろうなあと、ドラマを見ながら思い起こしたのは、孟子の言葉の有名なある一節です。

『天の將に大任をこの人に下さんとするや、必ずその心志を苦しめ、その筋骨を勞せしめ、その皮膚を飢えしめ、その身を空乏にし、行いにはその為す所を乱れせしむ。心を動かし性を忍び、その能わざる所を曾益せしむる所以なり』

天がその人に重要な任務を与えようとする時は、必ずその心や志が挫折するような事を起こし、肉体を疲労させ生活を困窮させ、その人が行おうとする事は何でもうまくいかないように仕向けるもの

であるという意味です。

天は何故そのような事をするのでしょうか？ それは、その人があらゆる困難を乗り越えて、できないと思われる事も出来るようにする、そういう人間に育てる為だということです。こうして鍛えられた人間であれば、その任を全う出来る資格があるということです。世の中を見てみますと、大成された人はやはり試練を乗り越えてきた人達であるようです。

やはりこれもテレビドラマの「仁」の話ですが、その中に『神は乗り越えられない試練は与えない』という言葉が出てきます。こちらの出典はおそらく聖書かと思われませんが、どちらにしても元氣付けられる言葉です。

曹洞宗の道元禅師も曰く『玉は琢磨によりて器となる。人は錬磨によりて仁となる。』宝石も磨いてこそ光輝く、人間も同じだということです。

皆様も夫々に与えられた課題や人生があるとありますが、大変な困難に遭っても色々な言葉に励まされ、乗り越えていってほしいと思います。

今年の大般若法要

日時 ; 4月18日(土) 14:30~ 受付
内容 ; 15:00 法話(鍛冶町 高国寺住職)
15:30 法要 16:00 懇親会
(弁当をお持ち帰り下さっても結構です)
会費 ; 3,000円(お札御祈祷、懇親会費)
申込み ; 電話 (0238) 23-0390

坐 禅 会

5月~10月の第1日曜日 朝 7:00~
申込不要。体が硬く足の組めない方でも OK

さて、令和六年から今年までの三年間は庫裡建設の寄付金勧募の期間で、令和九年には庫裡建設が始まります。どうぞ今年も皆様方にとって良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

* * *

今年の本山研修旅行は永平寺の予定です。大般若法要の法話は、今まで住職がしていました。これからは他寺院様に交代でお願いします。今年は高国寺様です。